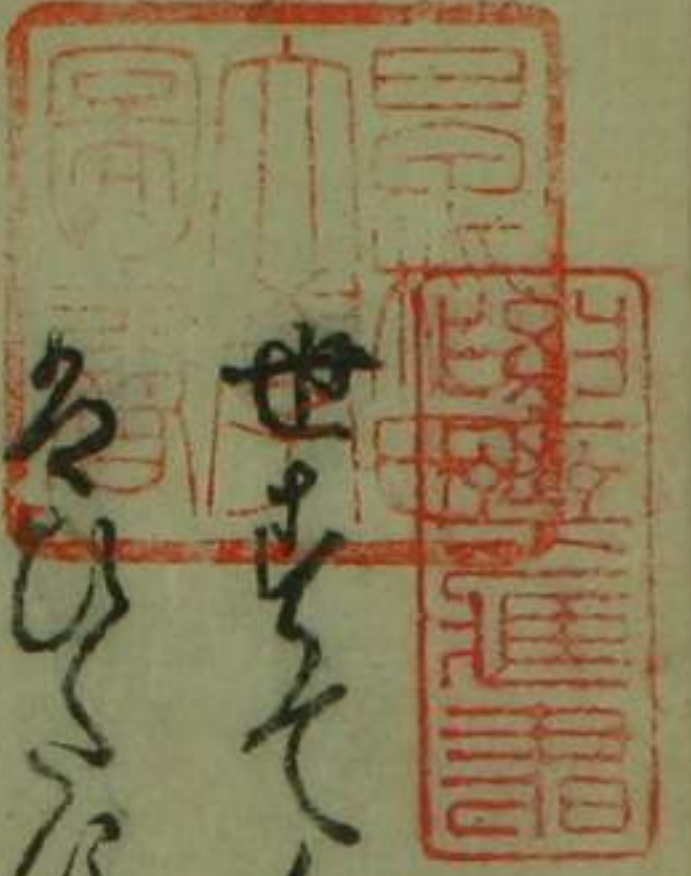


門 三十一
3753
I

大學圖書
第29.4.1頁
藏書



林上挿

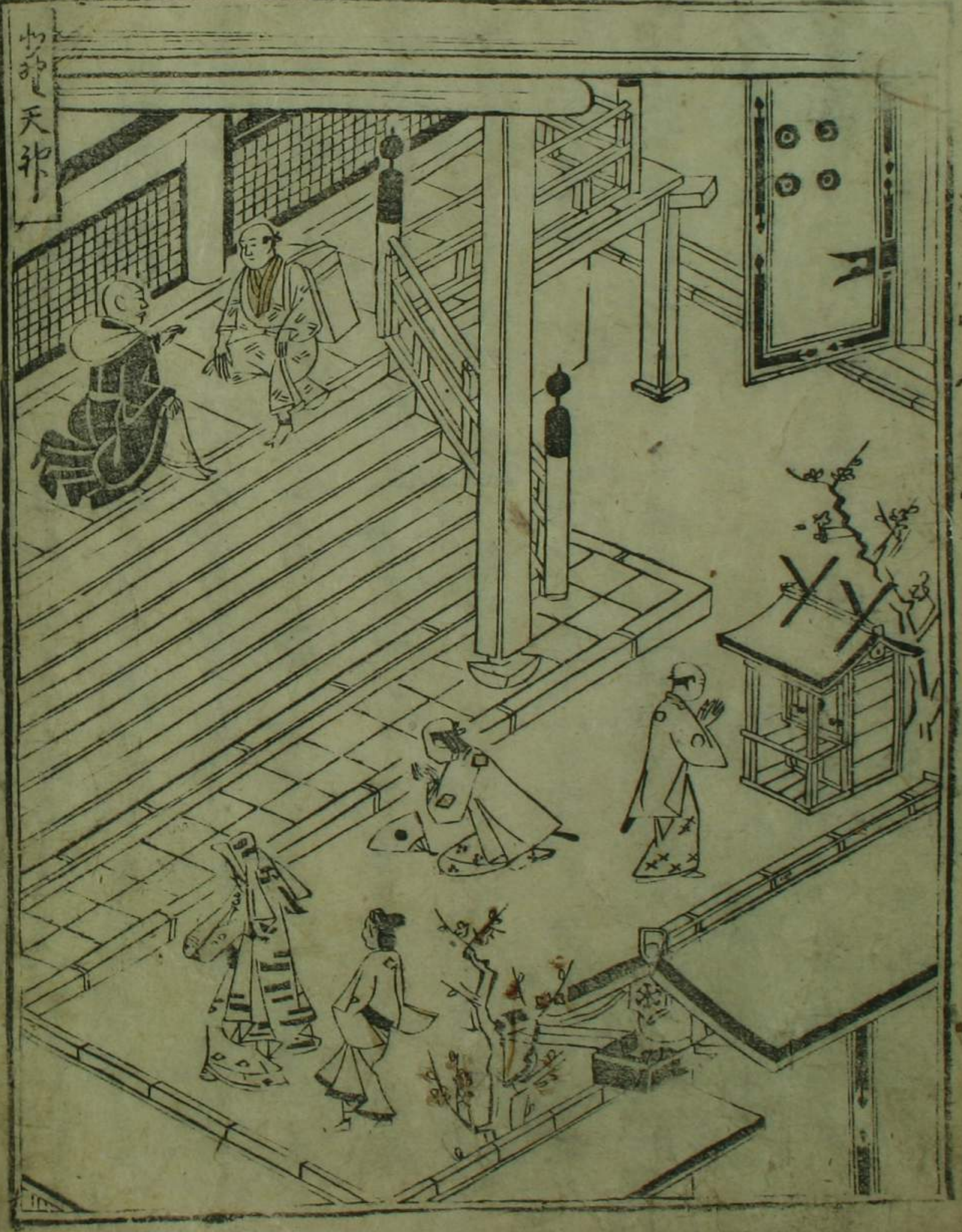


世もそ人のあつて世もそとらさし今
名ひくはくしとせしはたすくのみ成そりな
とるよそのはく。樂歌本とるやあはつと
心は極くうらみとくひはふまうはて
うらみのかり。裏うて地がなむぐまふお
水野の湯やうらみぞやうでまゐる。うら
ゆまの天糸とら湯一絆のゆまなりこ
あー地がなむぐあひあつととまのひとら
年あはれあづまの本ゆらうらまの物ら
あひくはくしとせしはたすくのみ成そりな

たりく我もそくふるなりあやまのよふ
 ちう。これぞ世のひろきあつたてけいこい
 しものもたれどもなりなれどもふく
 ゆるりてふそれをうらある能く
 けりしとまはひたれどもせう
 なんくつてたものゆるりてう
 的曆のひのりひのりひのり
 とつてひありたつてふ
 なるれいあつてふ
 まつたものつてあつてふ
 むあつてふ今ふたつてふ

たりく我もそくふるなりあやまのよふ
 ちう。これぞ世のひろきあつたてけいこい
 しものもたれどもなりなれどもふく
 ゆるりてふそれをうらある能く
 けりしとまはひたれどもせう
 なんくつてたものゆるりてう
 的曆のひのりひのりひのり
 とつてひありたつてふ
 なるれいあつてふ
 まつたものつてあつてふ
 むあつてふ今ふたつてふ

ねも明曆三丁酉正月十八日辰刻いひのりむらりて
 とれるふ乾いひのりりくくく風吹物。あまりみ
 風とあるまぢりわたり紙中矢は吹上りて
 多あひひいしりあさぬむらりけりわり様れり
 どのあひひいしりあさぬむらりけりわり様れり
 ねも明曆三丁酉正月十八日辰刻いひのりむらりて
 とれるふ乾いひのりりくくく風吹物。あまりみ
 風とあるまぢりわたり紙中矢は吹上りて
 多あひひいしりあさぬむらりけりわり様れり
 どのあひひいしりあさぬむらりけりわり様れり



少龍天祥

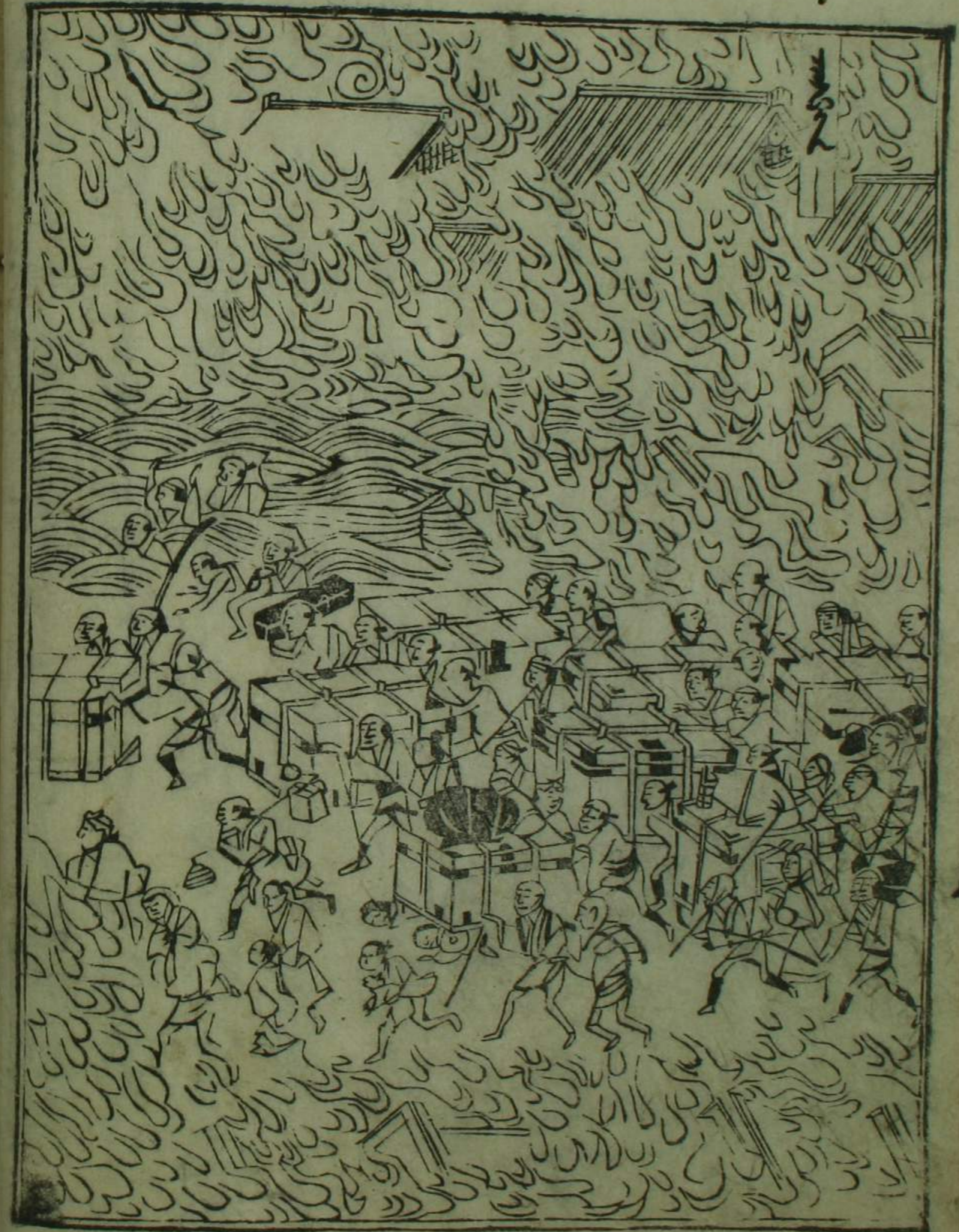
昂可ふ湯崎(湯崎)の焼(焼)あつらひ。さうさうさう。わ町(わ町)のさうさうさう
おるぞう。さう。焼(焼)ととびあえ。諸(諸)の臺(臺)水(水)井(井)とさう
の(の)も。戸(戸)田(田)うのわれ。うみ。肉(肉)者(者)ひごのう。こ。松(松)平(平)あま
あさ。う。ち。は。種(種)敏(敏)う。う。か。の。粉(粉)う。お。佐(佐)行(行)う。は。さ
と。う。め。ま。の。い。し。物(物)。意(意)道(道)河(河)乃(乃)大(大)公(公)小(小)海(海)。お。百(百)乃
屋(屋)敷(敷)う。ら。ま。ら。お。所(所)持(持)と。船(船)り。あ。り。そ。ま。さ。う。り
河(河)登(登)う。ぬ。う。う。う。焼(焼)と。伊(伊)り。ぬ。う。う。多(多)角(角)の。別(別)は
い。う。り。て。向(向)る。あ。よ。な。り。の。を。さ。う。う。く。味(味)さ。り。り。た。れ
を。神(神)田(田)稻(稻)の。火(火)う。法(法)く。世(世)て。さ。う。の。か。お。お。七(七)所(所)さ
て。一(一)夜(夜)う。の。ま。お。さ。わ。町(町)へ。と。び。う。り。り。粉(粉)お。さ。い。さ
どのう。こ。多(多)井(井)ま。後(後)正(正)小(小)溪(溪)氏(氏)ア。お。焼(焼)う。の。り。所(所)

焼(焼)の。同(同)心(心)者(者)八(八)所(所)り。れ。沙(沙)每(每)夜(夜)沙(沙)每(每)夜(夜)
め。お。り。や。う。く。粉(粉)う。お。油(油)色(色)う。お。松(松)平(平)越(越)前(前)さ。い。さ
も。大(大)さ。お。お。法(法)く。の。ま。お。さ。う。ら。ま。ら。お。所(所)持(持)と。風(風)う
あ。う。う。ひ。焼(焼)う。う。う。ま。ら。あ。焼(焼)う。う。う。焼(焼)う。の。さ。う。ん
な。り。ま。お。さ。う。ま。切(切)利(利)の。お。の。う。う。ま。さ。も。の。の。か。り。ん
と。お。さ。う。の。お。お。の。お。お。ひ。て。粉(粉)お。お。男(男)井(井)さ。う。り。を
の。う。お。お。と。風(風)下(下)さ。う。う。う。う。ま。お。さ。う。う。う。粉(粉)お。向(向)ふ
へ。お。う。う。う。り。具(具)若(若)お。う。う。ま。さ。う。の。お。お。墓(墓)前(前)の。り。く。う。う
と。お。う。う。い。ひ。り。う。う。れ。た。う。う。れ。た。う。う。あ。お。り。り。て。お。人(人)
あ。お。う。う。う。う。り。あ。お。う。う。の。お。お。お。お。の。お。お。お。お。火(火)り
り。お。う。う。う。う。う。う。の。粉(粉)う。お。の。院(院)く。お。の。い。て。お。お。う。う。い

同り横河ぐらふらありたりと云ふはあが。車輪
程なほ河の舟にびらりうがみよと云ふはあ
ありありとて大勢にうらむとてうらふと云
ふれど。一程のうらむとてはたのうらむと
うらむと云ふはあ。うらむとてはたのうら
むとてはたのうらむとてはたのうらむと
あありありとてはたのうらむとてはたの
ひりりてありとてはたのうらむとてはたの
とてはたのうらむとてはたのうらむとて
てもうらむとてはたのうらむとてはたの
あ神よりえつとてはたのうらむとてはたの

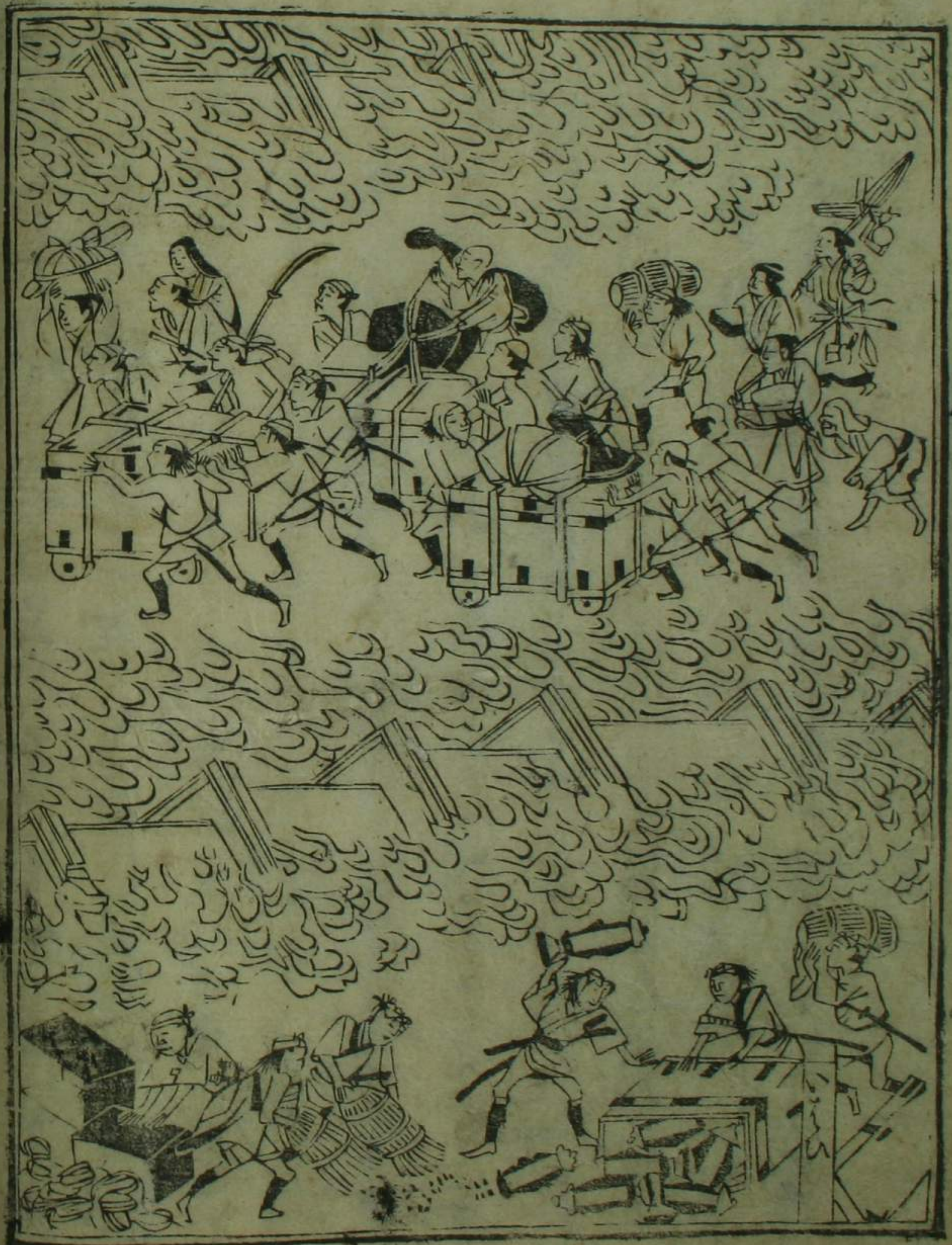
うらむとてはたのうらむとてはたのうらむ
とてはたのうらむとてはたのうらむとて
あありありとてはたのうらむとてはたの
まてありとてはたのうらむとてはたの
大所ありとてはたのうらむとてはたの
とてはたのうらむとてはたのうらむとて
どはたのうらむとてはたのうらむとて
どはたのうらむとてはたのうらむとて
どはたのうらむとてはたのうらむとて

あありありとてはたのうらむとてはたの
とてはたのうらむとてはたのうらむとて

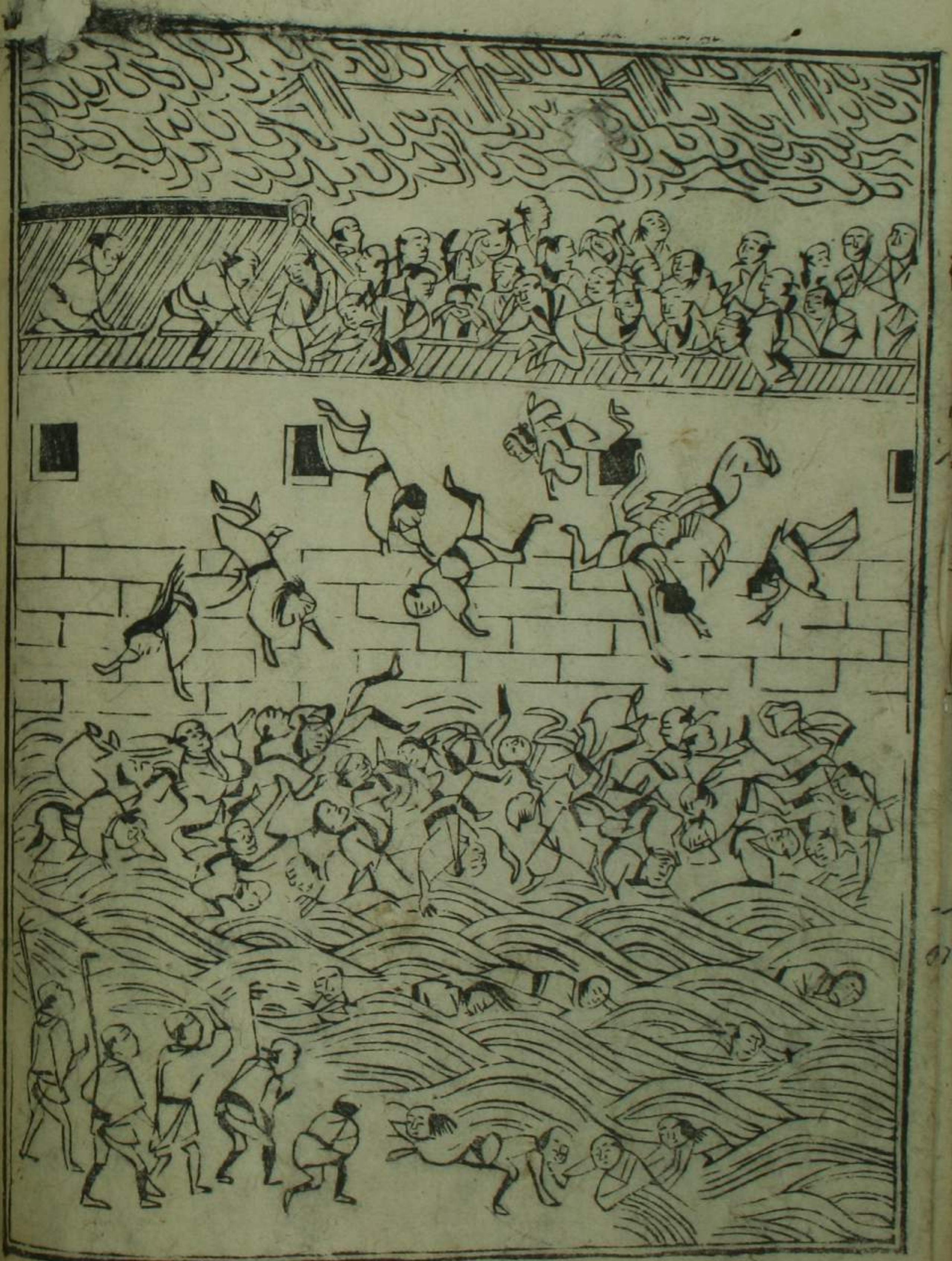
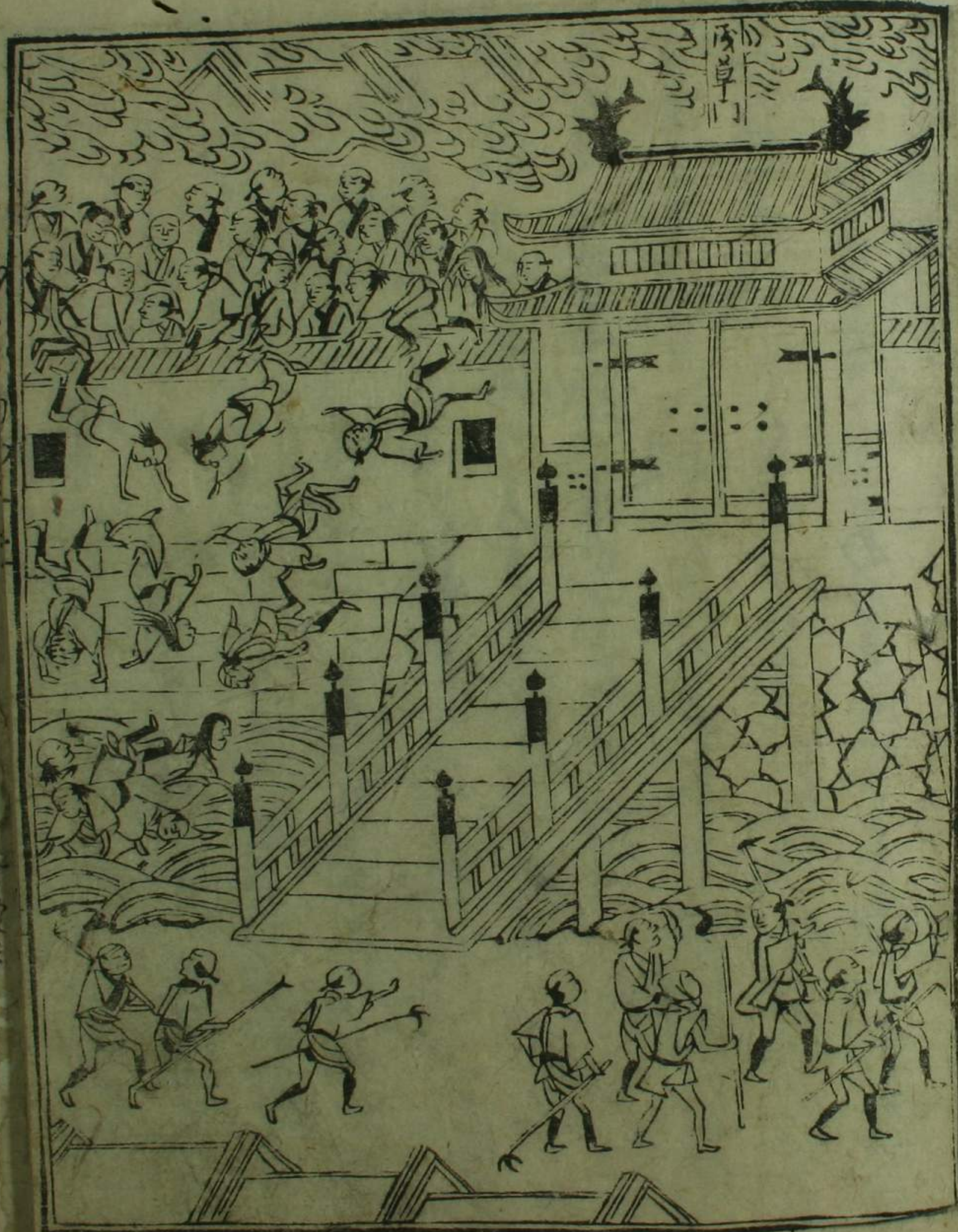


うの月の言がふふとよんであ風らよくとん
く吹落てゆふは清くわづらまをうまよま
の冬よりひましくあうらうらうら切き
なれどあぐらあまの金風おとびらる矣十所
女所とるそそたるあかえ付く梅あぐる程お
津田の明津比呂音与社久佛園成つと後陸丹
崎も大田海軍さびく松所さひり所おくさる
何もくろ家さあさくぐを柳茶うるま和泉取
橋成切てみお焼海りね板又おのさうあひり火
あさりふ須回所へえおさく一筋はあまよ返りて
所屋成くして焼ゆく今一筋は推取あさうるも返

わして押来るるは戸中野屋のむらあひのそとつ
なるか事そやとそ地わんさまびいあましくさ家
成難を成りちささびあおおのつあよあ
まそ体ころるあまお返風おびくく吹まうたて
あまのな堂うるま始くおさうあのもく同所お
園と焼くも山つごもく換あまをうらたをふ火も
え付くふ集つとあもいも臨人あつてうらあ
とあまうらんとそ井のりもふ飛入海の中
舟はうら後よ下なるかあふおあま中あまのあま
あまのまよあまのあまのあまのあまのあまのあま
百あ午婦人あまのあまのあまのあまのあまのあま

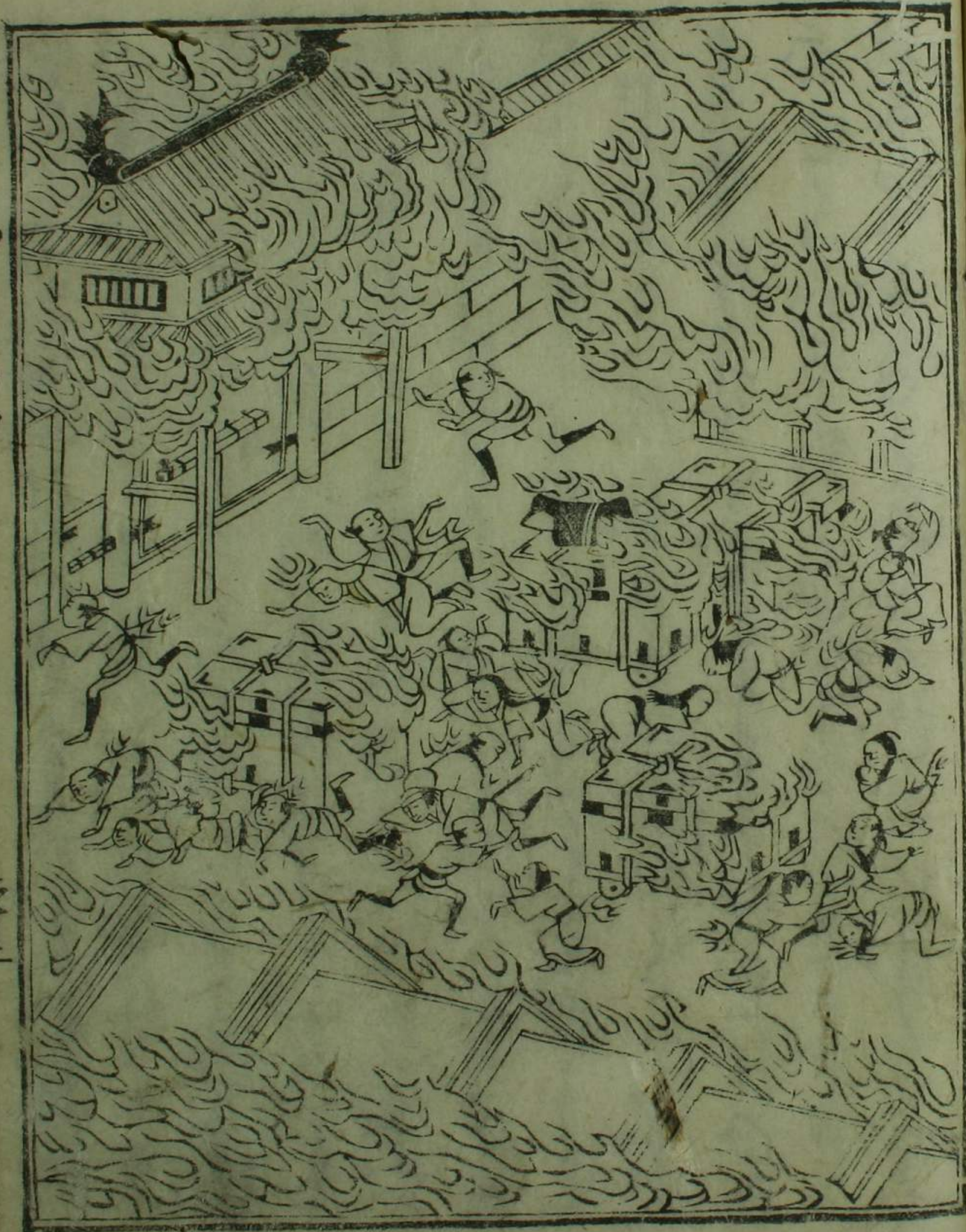


常小徳屋の事なりとる石帯のとりとてあま
 王不徳（おとく）のりてお徳屋よを付くべ
 帯のりて神人ともおとるがなんぢら今
 ちやまのりてまてん事うらひまのりて
 おびんののりてあまのりてまてん
 なまのりてあまのりてまてん
 てのりてあまのりてまてん
 あまのりてあまのりてまてん
 へまのりてあまのりてまてん
 ちやまのりてあまのりてまてん
 まてんのりてあまのりてまてん



のちりしむるに...
うらわげり...
お徳火の...
死人の...
てら...
念佛...
よお後の...

みう...
も...
み...
た...
な...
お...
よ...
す...
の...
ま...
の...



何れも川中におもひのびのく死をそまこころを
 みるせ八所もなるそく一人河を飛ぶこころ
 新田いそりもの生家まてこしくを橋
 やあびくこころのあくよはるのあま
 ようそくあがりね

あつたお徳はむらさきの花あつたむらさき
 とうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
 たくたつたつたつたつたつたつたつたつたつた
 舞んと踊りひらひらひらひらひらひらひらひら
 さなりの舞うらやうらやうらやうらやうらやう
 とあつたお母は舞うう人舞舞舞舞舞舞舞舞舞舞
 まつたおそれたおそれたおそれたおそれたおそれた
 仙のせんせんせんせんせんせんせんせんせんせん
 孫子見事徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳
 うあつたお母は舞ううらやうらやうらやうらやう
 まつたおそれたおそれたおそれたおそれたおそれた

とあつたお母は舞ううらやうらやうらやうらやう
 まつたおそれたおそれたおそれたおそれたおそれた
 仙のせんせんせんせんせんせんせんせんせんせん
 孫子見事徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳
 うあつたお母は舞ううらやうらやうらやうらやう
 まつたおそれたおそれたおそれたおそれたおそれた
 とあつたお母は舞ううらやうらやうらやうらやう
 まつたおそれたおそれたおそれたおそれたおそれた
 仙のせんせんせんせんせんせんせんせんせんせん
 孫子見事徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳徳
 うあつたお母は舞ううらやうらやうらやうらやう
 まつたおそれたおそれたおそれたおそれたおそれた

といふ人々をいふにやめてあつたがういふかたもいふに
 死なむとて實今をいふえゆる縁とて彼に
 びりり戸と結くみまがいの船まいののう
 を多なり人あつた世の法にあらうとあつたも
 あつた中におつたうらまがらうのまがらう
 といふたうらまがらうの法にあらうとあつたも
 とりののこをいふとりの戸とていひそつたう
 といふあつたうらまがらうの法にあらうとあつたも
 あつたうらまがらうの法にあらうとあつたも
 といふとりののこをいふとりの戸とていひそつたう
 といふあつたうらまがらうの法にあらうとあつたも
 といふとりののこをいふとりの戸とていひそつたう



